



No. 4
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成30年度第3回

一般国道168号

ご じょうしんぐう
五 條 新 宮 道 路
かぜ や かわ つ う ぐ わら
(風屋川津・宇宮原工区)

【再評価】

平成30年11月
近畿地方整備局

目次

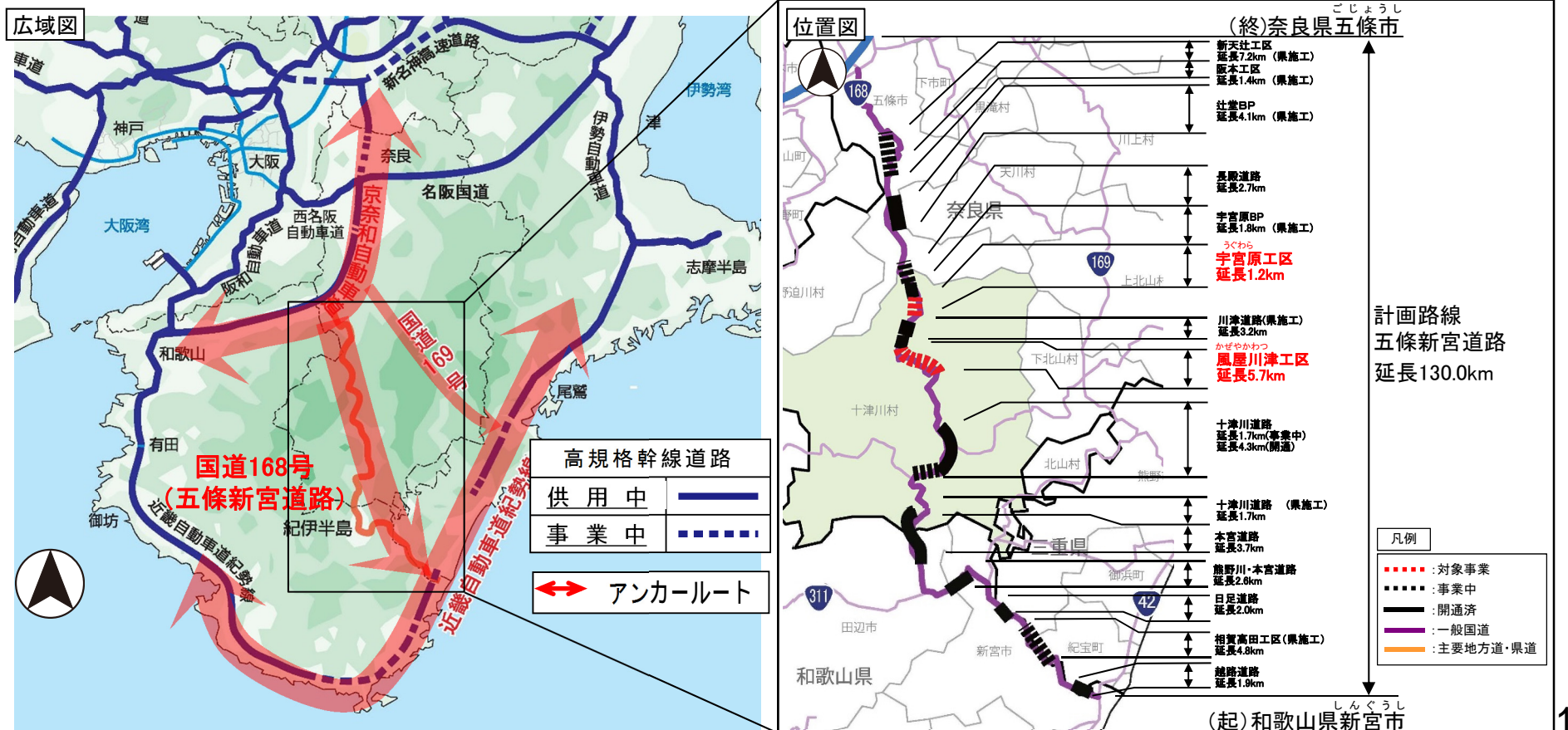
1. 事業全体図
2. 事業の概要
3. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
 - 4) 地域における計画等
4. 事業の進捗の見込みの視点
5. 事業費の見直し
6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
7. 関係自治体の意見
8. 対応方針(原案)

1. 事業全体図

一般国道168号 五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原工区)

国道168号五條新宮道路は、奈良県五條市から和歌山県新宮市を結ぶ延長130kmの地域高規格道路です。「紀伊半島アンカールート」の一部を形成し、高規格幹線道路の空白地帯である紀伊半島内陸部を南北に縦貫する極めて重要な幹線道路です。住民の生活と安全を守る「いのちの道」としてなど、防災面のみならず、人と物の流れを活発化し、地域の活性化を図るうえで必要不可欠な道路ですが、現在も未改良区間が多くあり、国と県で早期完成に向けて整備中です。

風屋川津・宇宮原工区は、地形条件が厳しく整備に高度な技術を要する区間であることから国土交通省権限代行事業として、安定した交通路の確保、線形が厳しい箇所・幅員狭隘区間の解消、医療施設へのアクセス向上、地域の活性化等を目的に整備を進めている延長6.9kmの道路です。



2. 事業の概要

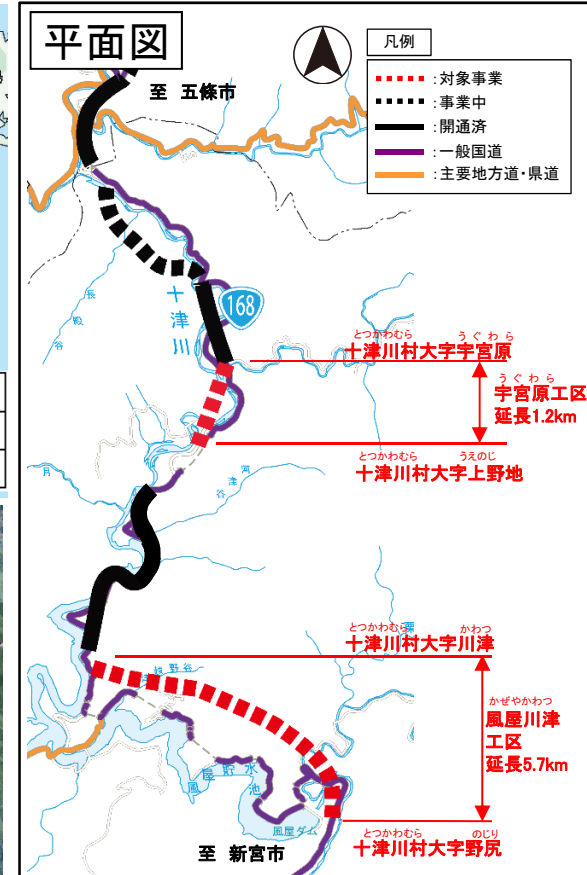
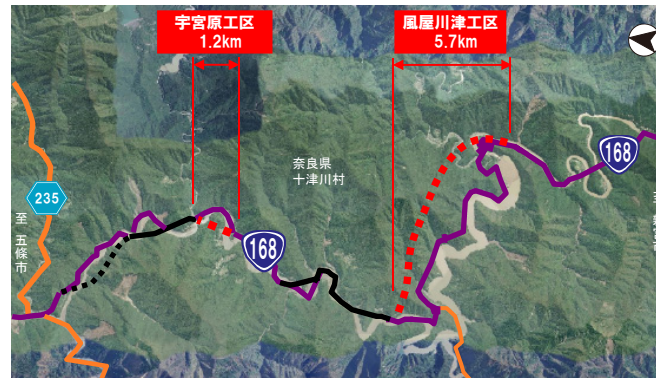
一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

事業の目的

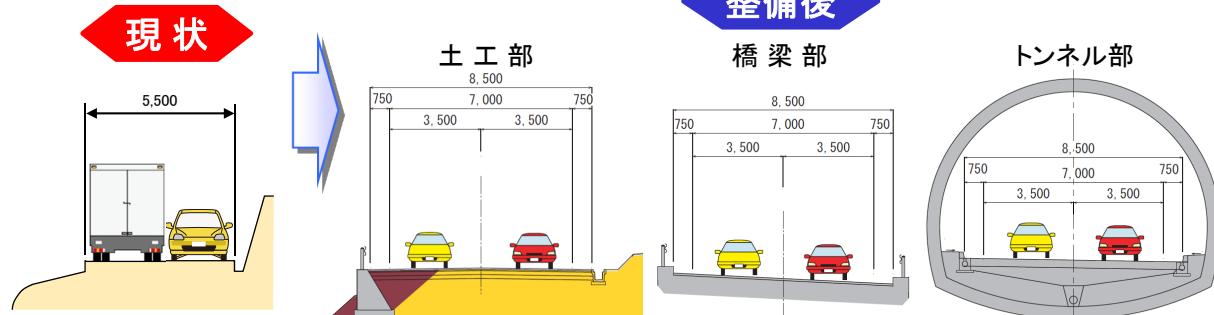
- 安定した交通路の確保
- 線形が厳しい箇所・幅員狭隘区間の解消
- 医療施設へのアクセス向上
- 地域の活性化

事業の概要・進捗状況

区間	よしの とつかわむら のじり (起) 奈良県吉野郡十津川村大字野尻 よしの とつかわむら うぐわら (終) 奈良県吉野郡十津川村大字宇宮原
道路延長	6.9km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
標準幅員	8.5m
計画交通量	3,300台/日(宇宮原) 3,300台/日(風屋川津)
全体事業費	300億円
事業化	平成25年度
都市計画決定	—
用地着手	—
工事着手	—
開通延長	—
事業進捗率	約1%(平成30年3月末現在)
用地進捗率	0%(面積ベース、同上)



標準断面図

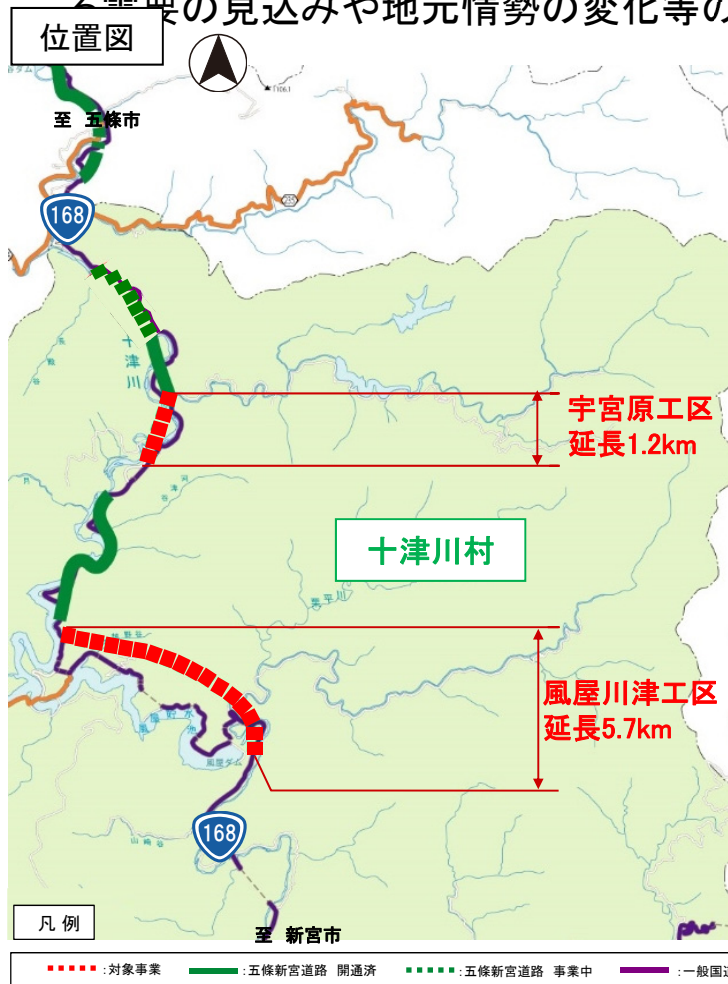


3. 事業の必要性等に関する視点

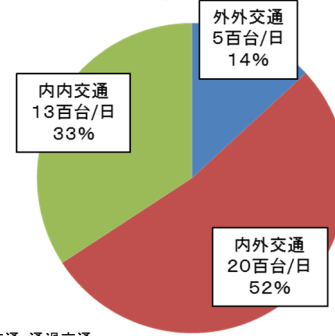
一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 国道168号(現道)の交通特性は、地区内交通(内内交通と内外交通)が約8割と多く、地域を支える道路である。
- 十津川村の人口は経年的に減少しているものの、自動車保有台数の推移は事業化時(H25)から変化はない。
- 十津川村の人口は近年減少傾向にあるとともに高齢化率は進行しているが、事業採択の際の前提となってい

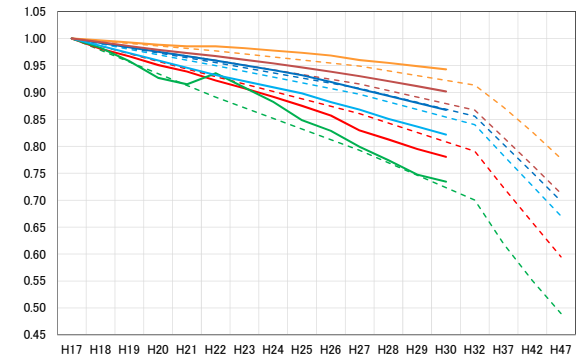


《国道168号(現道のOD内訳)》



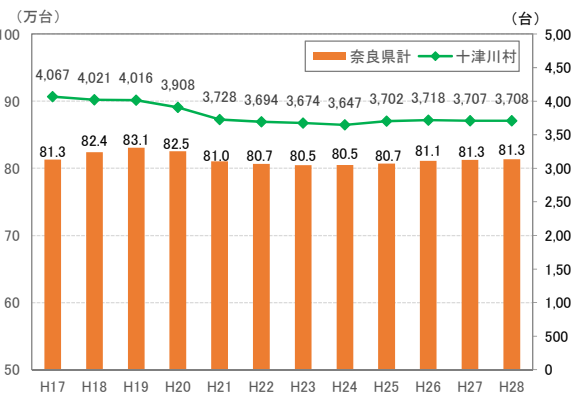
※外外交通:通過交通
内外交通:周辺地域とその他の地域の交通
内内交通:周辺地域内の交通
周辺地域とは、※周辺地域とは、当該事業が通過する吉野郡十津川村 H22全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出 合計値は表示桁数の関係で一致しないことがある

《人口の伸び率》



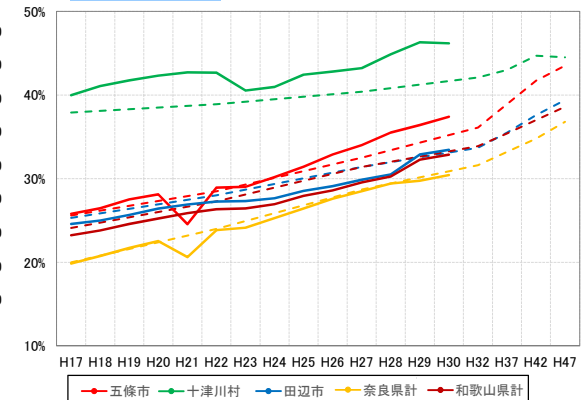
出典: 奈良県統計年鑑H17~H30 和歌山県統計年鑑H176~H30
H19.5時点将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所) 破線は推計値

《自動車保有台数の推移》



出典: 奈良県統計年鑑H17~H28
市区町村別自動車保有車両数、市区町村別軽自動車車両数

《高齢化率》



出典: 奈良県統計年鑑H17~H30 和歌山県統計年鑑H176~H30
H19.5時点将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所) 破線は推計値

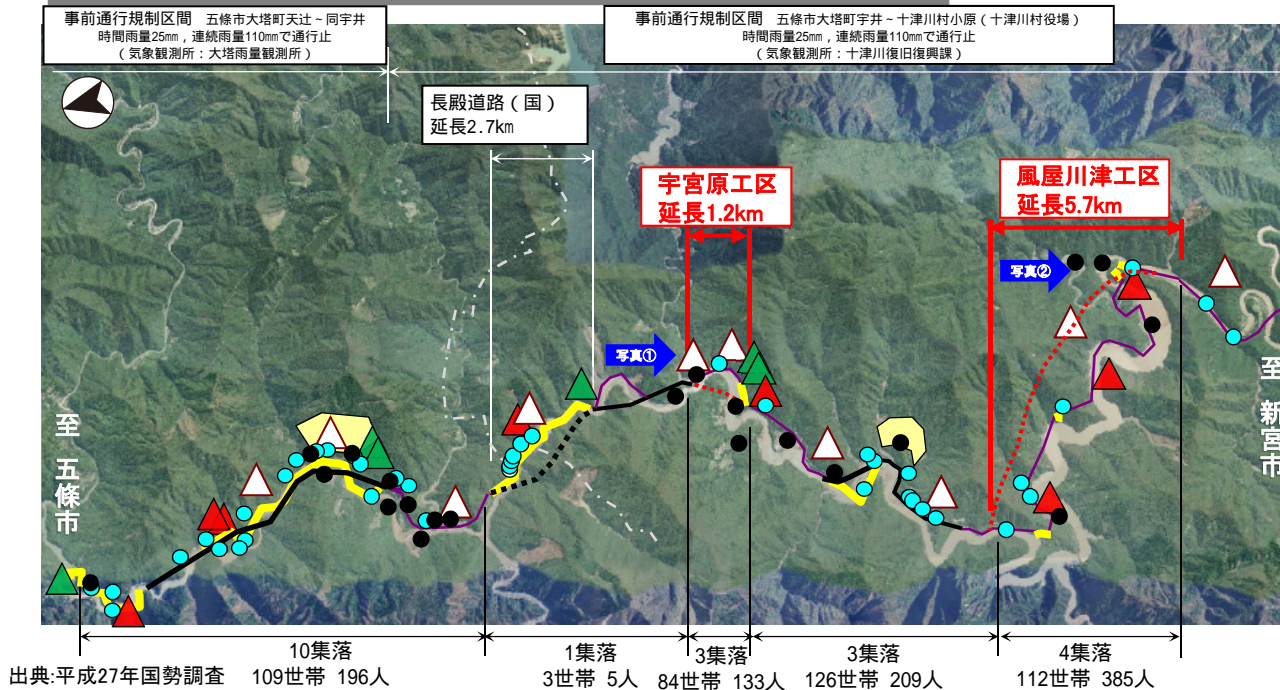
3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

2) 事業の整備効果(安定した交通路の確保)

- 十津川村内の国道168号では過去10年間(H20年度～H29年度)に、22回の全面通行止めが発生。
- 風屋川津・宇宮原工区においては、既往災害発生箇所(5箇所)、深層崩壊箇所(3箇所)、防災点検要対策箇所(未対策)(6箇所)が存在し、災害に脆弱。
- 風屋川津・宇宮原工区においては、沿線では約500人(7集落、約200世帯)の住民が生活しており、災害時の孤立が懸念される地域。
- 五條新宮道路の整備により、防災点検要対策箇所が約4割と大幅に減少するなど、脆弱な現道区間を回避でき、円滑な走行を確保。

台風12号の風屋川津・宇宮原工区周辺における被害状況



写真① 国道168号崩落状況(撮影時期:H23.9)



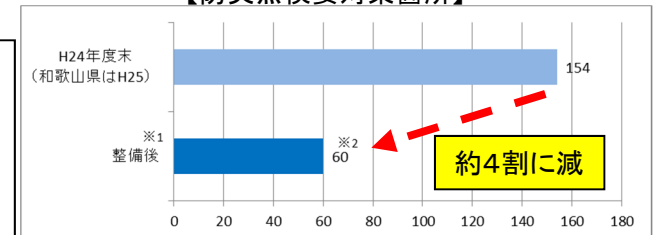
写真② 道路崩壊箇所(撮影時期:H24.6)

【十津川村内の国道168号における過去10年間の通行規制状況】

発生年度	全面通行止め回数			
	落石・崩土			
	長殿	宇宮原	風屋川津	他
H20年度	0	0	0	0
H21年度	0	0	0	1
H22年度	0	0	0	0
H23年度	1	1	0	9
H24年度	0	0	2	3
H25年度	0	0	0	1
H26年度	0	0	0	0
H27年度	0	0	0	1
H28年度	0	0	1	0
H29年度	1	0	0	1
小計	2	1	3	16
合計	22			

出典:奈良県県土マネジメント部資料

【防災点検要対策箇所】



- 1) 五條新宮道路で事業化されている区間
- 2) うち、風屋川津・宇宮原工区の整備により10箇所回避(対策完了4箇所含む)

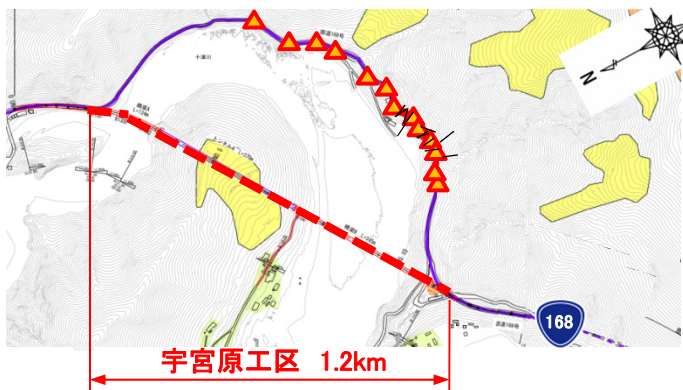
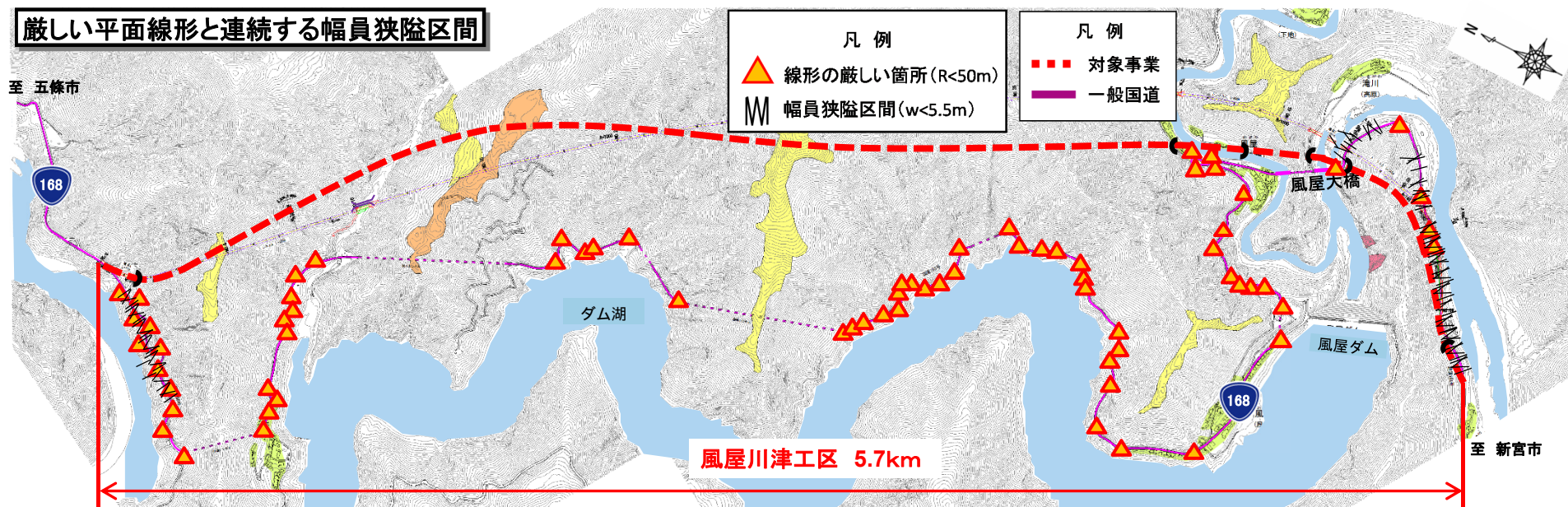
3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

2) 事業の整備効果(線形が厳しい箇所・幅員狭隘区間の解消)

- 現道区間では線形の厳しい箇所が86箇所、幅員狭隘区間が10区間あり、自動車同士のすれ違いが困難、安全・安心な通行の確保が課題。
- 五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)の整備により、脆弱な現道区間を回避でき、円滑な走行を確保。

厳しい平面線形と連続する幅員狭隘区間



課題箇所		現況	開通後
線形の厳しい箇所	風屋川津	73箇所	86箇所 → 0箇所
	宇宮原	13箇所	
幅員狭隘区間	風屋川津	8箇所	10区間 → 0区間
	宇宮原	2箇所	

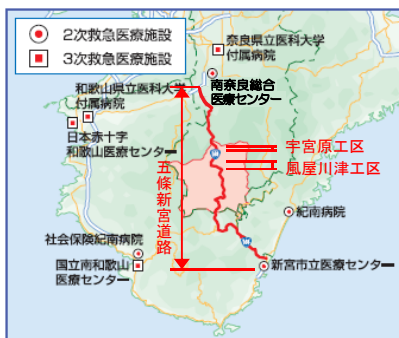
3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

2) 事業の整備効果(医療施設へのアクセス向上)

- ^{とっかわ}十津川村の人工透析患者や周産期妊婦は村外の病院に通院。
- 国道168号の通行止め時には、通院に大きな迂回が生じるため、入院したり親類宅に一時転居するなどの対応が必要。
- ^{ごじょうしんぐう}五條新宮道路の整備により落石、崩土による通行止めは大幅に回避。また、搬送時間の短縮が図られ、通院する住民の負担軽減、安心できる生活を支援。

救急医療施設の位置



国道168号の通行止めの影響

十津川村在住 人工透析患者 15人

通院先	人数
五條病院	8
天理市の病院	1
葛城市の病院	1
新宮市の病院	5

H23.9 台風12号被害のため 国道168号 通行止

対応方法	人数
五條病院に入院	6
親類宅に一時転居	2
五條市に転居	3
新宮市に転居	3
その他	1

※村全体が孤立したためへりで搬送

出典:十津川村調べ

過去10年の国道168号通行止め回数 (五條市、十津川村)

発生年度	全面通行止め回数 (落石、崩土)	
	実回数	うち、五條新宮道路の事業化区間
H20年度	1	1
H21年度	4	3
H22年度	0	0
H23年度	15	9
H24年度	5	5
H25年度	3	3
H26年度	0	0
H27年度	1	1
H28年度	4	4
H29年度	5	1
小計	38	27

搬送時間 十津川村役場～南奈良総合医療センター



周産期妊婦の定期検診先 (平成30年6月末時点)

十津川村在住 周産期妊婦 11人

通院先	人数
橋本市の病院	3
新宮市の病院	3
橿原市の病院	4
田辺市の病院	1

出典:十津川村調べ

※1:H27全国道路・街路交通情勢調査平均速度で算出
 ※2:H27全国道路・街路交通情勢調査時点における未供用区間(事業実施区間)の速度は、60km/hで算出

全面通行止めは7割程度回避

出典:奈良県県土マネジメント部資料

3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

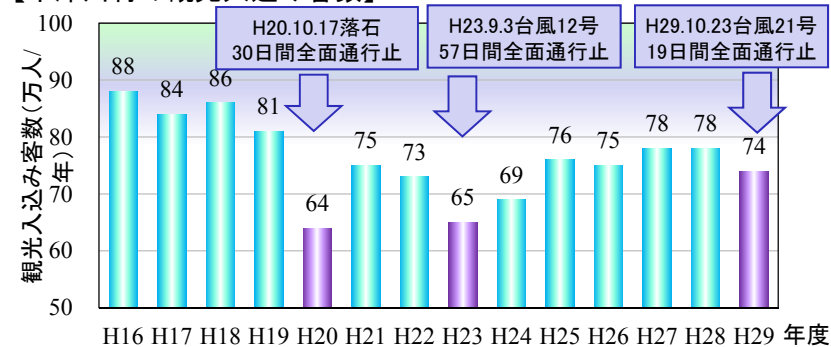
2) 事業の整備効果(地域の活性化)

- ^{とつかわ}十津川村には多くの観光資源が存在するが、主要な観光ルートとなる国道168号はカーブが多く、走行性が悪いほか、災害による全面通行止めが、観光客数に大きく影響。
- 一方、H23紀伊半島大水害を契機に村をあげて林業再生に取り組んでおり、原木生産量は10年前に比べると2倍以上と大幅に増加。
- ^{ごしょうしんぐう}五條新宮道路の整備により、信頼性のある道路ネットワークが形成され観光振興の回復・安定及び輸送時間の短縮など産業活性化を支援。

十津川村観光地



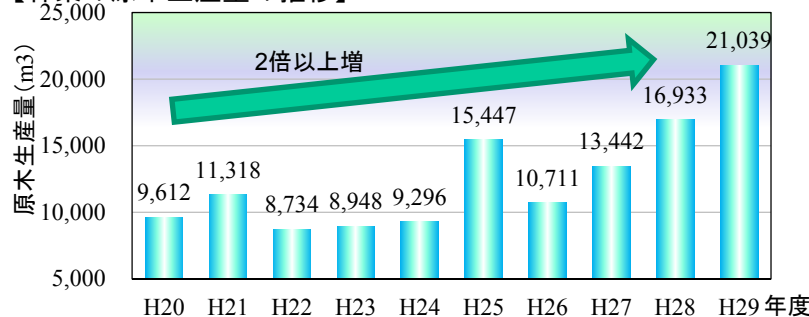
【十津川村の観光入込み客数】



出典:十津川村資料

・H23.9 十津川道路一部(国)供用
 H28.3辻堂BP一部(県)、川津道路(県)供用
 H30.3辻堂BP(県)全線供用

【林業の原木生産量の推移】



※H25年度までは伐採届によるもの

H26年度以降は事業体聞き取りによる原木販売数量

出典:十津川村資料

3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

3) 事業の投資効果

■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	242億円	21億円	1.7億円	265億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	1.1
	234億円		14億円	248億円	

■ 算出条件等

- 基準年 : 平成30年
- 検討期間 : 50年間
- 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%
- 交通量の推計時点 : 平成42年度
- 交通量の推計手法 : 平成22年度 全国道路・街路交通情勢調査
- 適用した費用便益分析マニュアル : 平成30年2月版
- 事業費 : 300億円
- 維持管理費 : 13百万円/km
- 作成主体 : 近畿地方整備局

■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	242億円	21億円	1.7億円	265億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	1.1
	228億円		14億円	242億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

4) 地域における計画等

■地域における計画

- ◇第5次十津川村総合計画(十津川村:H29.3)
- ◇十津川村復興計画(十津川村:H24.4)
- ◇十津川村紀伊半島大水害復興計画アクションプラン(十津川村:H26年度版)
- ◇奈良県道路整備基本計画(奈良県:H26.7)
- ◇奈良県南部振興基本計画(奈良県:H27.3)
- ◇奈良県南部振興基本計画平成29年度アクション・プラン(奈良県:H29.4)
- ◇奈良県国土強靱化地域計画(奈良県H28.5)

■これまでの経緯

- ◇道路整備促進期成同盟奈良県協議会(会長:大和郡山市長)
 - ・構成メンバー 奈良県全域12市15町12村計39市町村
 - ・最近の動向 平成27年11月に整備促進の要望

- ◇内吉野土木協議会(会長:野迫川村長)
 - ・構成メンバー 五條市、野迫川村、十津川村計3市村
 - ・最近の動向 平成30年10月に整備促進の要望

- ◇国道168号(五條・新宮間)整備促進協議会(会長:新宮市長)
 - ・構成メンバー 和歌山県:新宮市、田辺市、那智勝浦町、太地町、北山村
奈良県:五條市、十津川村、野迫川村
三重県:熊野市、紀宝町、御浜町計11市町村
 - ・最近の動向 : 平成30年10月に整備促進の要望

4. 事業の進捗の見込みの視点

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

1) 事業の進捗状況

平成30年度事業内容

- ・風屋川津工区、宇宮原工区ともに調査設計を実施しています。

進捗状況

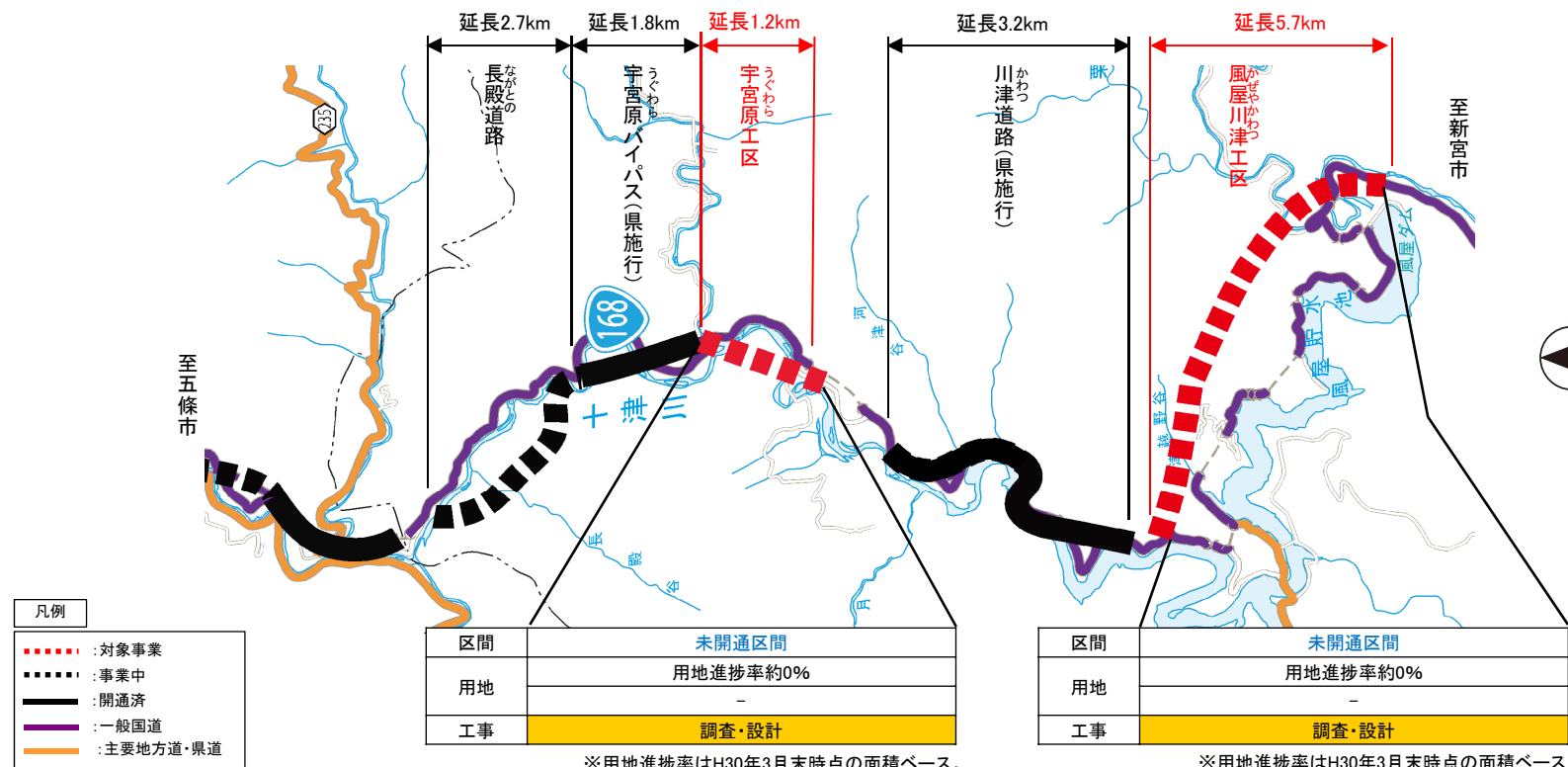
- ・平成29年度末までの進捗は用地進捗率0%(面積ベース)、事業進捗率は約1%(事業費ベース)です。

事業進捗上の課題

- ・全工区において大きな課題はありません。

2) 今後の事業スケジュール等

- ・風屋川津工区、宇宮原工区ともに、引き続き、調査設計を推進していきます。



5. 事業費の見直し

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

全体事業費の見直し

地質調査の結果からルート変更を行ったことなどにより約6.1億円の事業費増が生じたため、コスト縮減を図ったものの、事業費全体では約6.0億円の増額が発生

事業費の増加要因(風屋川津工区)

地質調査の結果、ルートを見直したことに伴いトンネルや橋梁の延長が増となった。

また、上記に伴い、アクセス橋が追加及び1号トンネルの延長が長くなったため、内空断面の変更や防災等級が変更となった。

コスト縮減の取組(風屋川津工区)

事業費増加にあたり、コスト縮減策を検討した結果、橋梁構造の見直しにより約1億円のコスト縮減を図る。

単位:億円

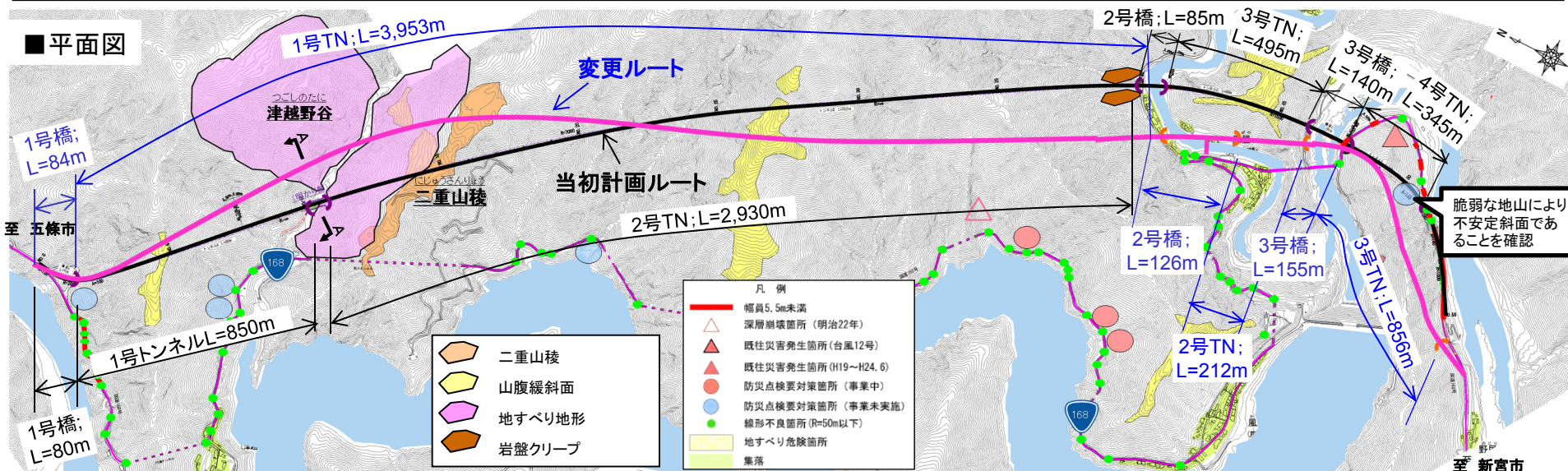
NO.		主な増加理由	金額	備考
①	地質に係るもの	トンネル延長増及び防災等級変更に伴う費用の増加	47.0	
②		橋梁延長増に伴う費用の増加	14.0	
③	橋梁構造の見直し		-1.0	
	合計		60.0	

5. 事業費の見直し

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

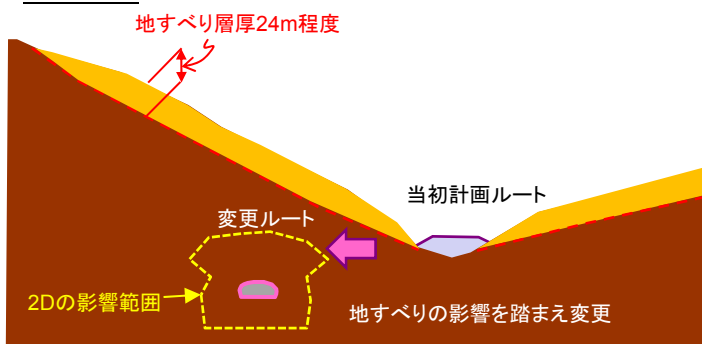
トンネル延長増及び防災等級変更に伴う費用の増加 (+ 47.0 億円)

地質調査の結果、地すべり地形が確認されルートを見直したことに伴い、当初計画時のルートに対しトンネル延長が401m増加。
また、トンネル延長変更に伴い、防災等級が変更となり、トンネル断面が大きくなった。

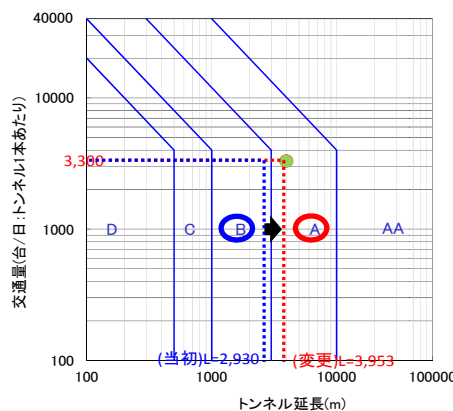


■ 明り部からトンネルへ変更

A — A

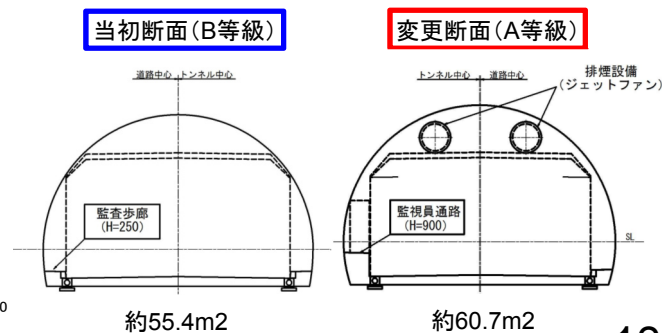


■ 防災等級の変更 (B等級からA等級)



■ 内空断面の変更

監視員通路等の設置に伴い、内空断面が変更



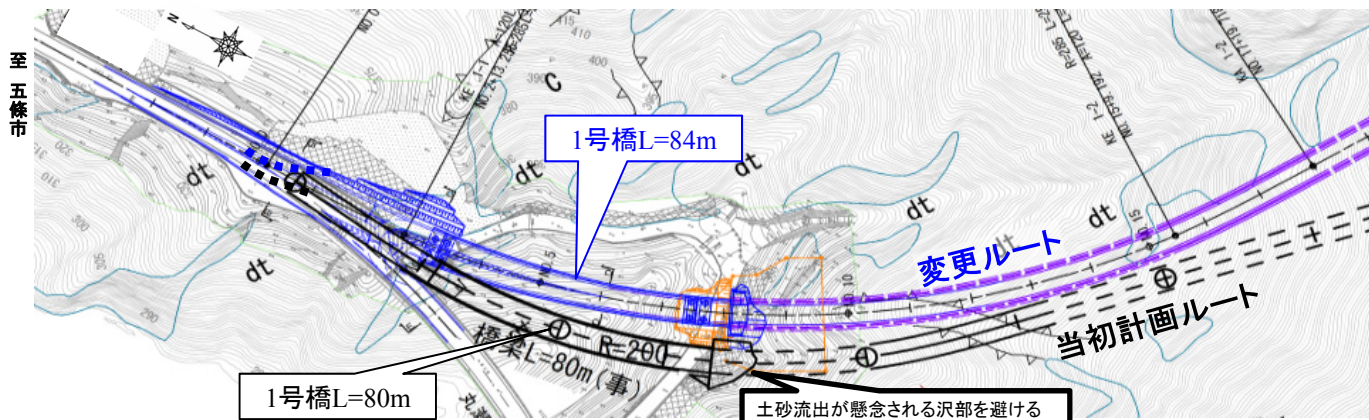
5. 事業費の見直し

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

橋梁延長増に伴う費用の増加 (+ 14.0億円)

現地調査により岩盤クリープ等が確認され、防災検討会の提言等を踏まえ、ルートを見直したことが及び集落へのアクセスを確保するため、現道へのアクセス橋を追加したことにより、当初計画時のルートに対して橋梁延長が113m増加。

■ 平面図(1号橋)

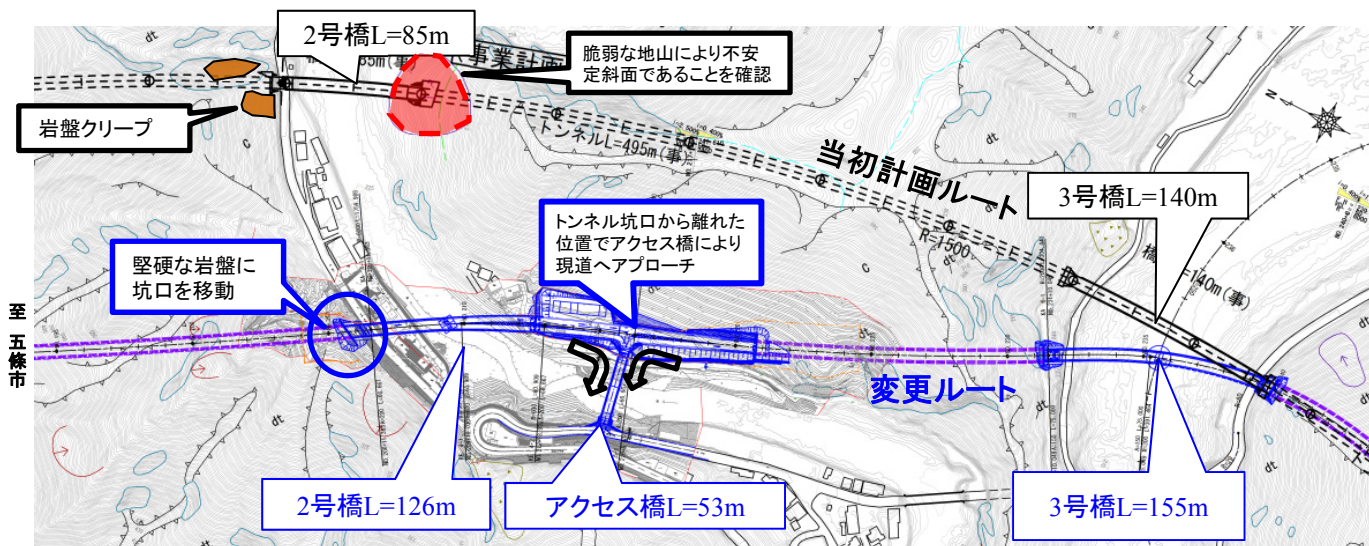


・1号トンネル起点側の坑口を土砂流出が懸念される沢部を避けて、尾根部に変更

<岩盤クリープ>

- ・連続的なすべり面を持たずに物質が重力によって徐々に変形する現象。
- ・周辺斜面とは異なり、わずかな凹凸が認められる。

■ 平面図(2号橋、3号橋、アクセス橋)

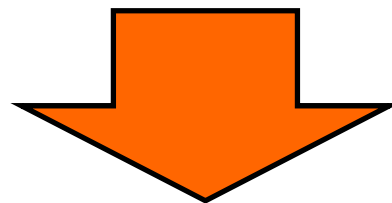


・不安定斜面及び岩盤クリープを避けた線形に変更
・アクセス橋を新たに計画し集落へのアクセス機能を確保

6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

一般国道168号五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)は、安定した交通路の確保、医療施設へのアクセス向上、地域の活性化等を勘案して選定された合理的な計画であり、引き続き事業を推進していきます。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進していきます。

7. 関係自治体の意見

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

■奈良県知事

平成30年11月7日 道建110号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会
について(回答)

五條新宮道路は、紀伊半島全体の強靱化を図る観点から、「命の道」として、特に重要な地域高規格道路であり、加えて、南部地域の復旧・復興から振興への核として、観光や林業の振興といった地方創生に資する幹線道路です。

しかしながら、五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)の現道は、狭隘区間やカーブが多いため、走行性が悪く、かつ、災害にも脆弱であることから、風屋川津・宇宮原工区を早期に整備することで、交通の円滑化や安全、安心の確保が図られ、さらなる観光や林業の振興が期待できます。

県としても、阪本工区、新天辻工区の整備を鋭意進めているところであり、紀伊半島の強靱化や南部地域の地方創生のため、風屋川津・宇宮原工区の事業継続は不可欠です。

以上のことから、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業継続にあたり、より一層のコスト縮減等に努めて頂きたい。

県としては、円滑な事業推進のための環境整備の推進や沿線の自治体との協力を努めますので、早期の供用に向けた確実な事業推進をお願いします。

◆沿線市町村の期待

■十津川村長

(道路整備に期待する効果)

①防災

- ・紀伊半島アンカールートを担う五條新宮道路の整備により、大規模災害発生後より迅速な救助や支援が受けられるとともに、紀伊半島の強靱化に繋がる。
- ・長殿道路及び宇宮原工区は安全・安心な集落づくりを進める谷瀬地区と隣接しており、道路整備により事業の更なる推進に期待。

②観光

- ・県内外からのアクセス向上に伴う十津川温泉等観光地の来客数増加。
- ・アクセス向上により観光地での長時間滞在や、紀伊半島周遊など新たな観光コースの創設。

③地域の活性化

- ・村外へのアクセス向上により、物流コスト低下に伴う林業の6次産業を軸とした地域の活性化に期待。
- ・観光地へのアクセス向上により、観光産業の活性化に伴う人口減少の歯止めに期待。
- ・地域外への通勤時間短縮に伴い、人口減少の歯止めに期待。
- ・地域内での通行止め日数の減少や通学時間の短縮により学力アップに期待

④医療施設のアクセス向上

- ・医療施設への時間短縮により助かる命が増えることに期待

(村の取り組み)

①防災

- ・点在する集落から国道168号へのアクセスルートの点検・改良を推進。
- ・全大字に衛星携帯電話を配置し、情報収集機能の強化を推進。

②観光

- ・玉置神社へのバス乗り入れに対応した道路整備を推進。
- ・大阪府泉南市・和歌山県田辺市と連携し、インバウンドを含めた関西国際空港からの広域観光周遊ルートの誘客推進。
- ・外国人観光客も含めた観光客の増を期待して、無料Wi-Fiポイントの整備を推進。

③地域の活性化

- ・観光地、集落の活性化を話し合う活性化協議会を立ち上げ、地域の情報発信や地域のコミュニティ作りを推進。
- ・豊富な森林資源をより幅広く活用するため、モデル住宅建設やインテリアの開発を行い、消費拡大による新たな雇用を創出。

8. 対応方針(原案)

一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

1. 事業の必要性等に関する視点

- ・事業目的である安定した交通路の確保、医療施設へのアクセス向上、地域の活性化が必要な状況は変化していない。
- ・五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)の整備により既往災害発生箇所などを回避でき、安定した交通路の確保が期待される。
- ・五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)の整備により災害時も機能する道路が確保され、医療施設へのアクセス向上が期待される。
- ・五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)の整備により信頼性のある道路ネットワークが形成され、地域の活性化が期待される。
- ・費用便益比(B/C)は、事業全体で1.1。残事業で1.1。

2. 事業進捗の見込みの視点

- ・一般国道168号五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)は、事業の必要性等に関する視点に変更はなく、引き続き調査・設計を進めることで、早期の供用を目指す。

五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。
引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

事業継続



No. 4
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成30年度第3回

一般国道168号

ご じょうしん ぐう

五 條 新 宮 道 路

かぜ や かわ つ う ぐ わら

(風屋川津・宇宮原工区)

【再評価】

(計算結果等参考資料)

平成30年11月

近畿地方整備局

(再評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道168号 五條新宮道路（風屋川津・宇宮原工区）
事業主体	近畿地方整備局

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（B / C）= 1.1（経済的純現在価値（B - C）= 17億円、経済的内部収益率（EIRR）= 4.4%） 残事業：費用便益比（B / C）= 1.1（経済的純現在価値（B - C）= 22億円、経済的内部収益率（EIRR）= 4.6%）

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	円滑なモビリティの確保	現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（現況）：9387万人・時間/年 渋滞損失削減時間：9万人・時間/年（14481万人・時間/年 14472万人・時間/年） 区間b（当該区間/並行区間）について：一般国道168号 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間：9万人・時間/年 並行区間等（当該区間）の渋滞損失削減率：8割削減
		現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	奈良交通（近鉄八木駅～十津川温泉～ホテル昴～本宮大社前～JR新宮駅） 十津川村内を運行する村営バス
		新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～大和八木駅（所要時間127分 125分）
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	五條・吉野地域（十津川村）、主な出荷先：京阪神、主な出荷品目：スギ、ヒノキ
	現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1. 活力	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		中心市街地内で行う事業である	
		幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		D1D区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築	高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り		
	地域高規格道路の位置づけあり	五條新宮道路	
	当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する		
	当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	新宮市～五條市(所要時間:164分 162分)	
	現道等における交通不能区間を解消する		
	現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	国道168号(十津川村大字野尻～川津、十津川村大字上野地～宇宮原)	
	日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～五條市(所要時間:85分 73分)	
個性ある地域の形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する		
	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	「観光地域づくり実践プラン」実施地域、紀伊山地の霊場と参詣道 H16年	
	主要な観光地へのアクセス向上が期待される	十津川温泉郷(年間観光客入込数:780千人/年 H28年度)	
	特別立法に基づく事業である		
	新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		
	歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である		
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
無電柱化による美しい町並みの形成	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り		
	市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する		
安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～奈良県立医科大学附属病院(所要時間:127分 114分)	

3. 安全	安全な生活環境の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	奈良県地域防災計画（第1次緊急輸送道路）
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道42号(和歌山市～新宮市)
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	防災点検要対策箇所数=6(国道168号 十津川村大字野尻～宇宮原間)
		現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	異常気象時通行規制区間 国道168号 十津川村小原～五條市大塔町字井(31.5km)（十津川村大字野尻～川津、十津川村大字上野地～宇宮原間解消）
		避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量:2652.34t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：一般国道168号 排出削減量：10.98t/年、排出削減率：10割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：3.43t/年
		現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：一般国道168号 排出削減量：0.63t/年、排出削減率：10割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてS P M排出増加量：0.19t/年
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式 - 2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道168号	五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原工区)	L = 6.9km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
宇宮原 : 3,300 風屋川津 : 3,300	2車線	近畿地方整備局

費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成30年度		
単純合計	278億円	41億円	319億円
うち残事業分	273億円	41億円	314億円
基準年における 現在価値 (C)	234億円	14億円	248億円
うち残事業分	228億円	14億円	242億円

便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成30年度			
供用年	平成37年度			
単年便益 (初年便益)	16億円	1.3億円	0.11億円	17億円
基準年における 現在価値 (B)	242億円	21億円	1.7億円	265億円
うち残事業分	242億円	21億円	1.7億円	265億円

注)「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

結 果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	17億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.4%
費用便益比（残事業）	1.1
経済的純現在価値（残事業）	22億円
経済的内部収益率（残事業）	4.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	宇宮原 : 3,300 風屋川津 : 3,300	± 10%	0.9 ~ 1.2
事業費	273億円	± 10%	0.98 ~ 1.2
事業期間	6年	± 20%	1.04 ~ 1.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	宇宮原 : 3,300 風屋川津 : 3,300	± 10%	0.96 ~ 1.2
事業費	273億円	± 10%	0.998 ~ 1.2
事業期間	6年	± 20%	1.06 ~ 1.1

交通状況の変化

様式 - 3

事業名：五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区) (事業全体)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 宇宮原工区 (1.2km)	交通量 ¹	[台/日]	0	3,300	
	走行時間 ²	[分]	0	1	
	走行時間費用 ³	[億円/年]	0.00	0.871	
新設・改築道路 風屋川津工区 (5.7km)	交通量	[台/日]	0	3,300	
	走行時間	[分]	0	6	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	4.13	
主な周 辺道路 ⁴	一般国道 168号 (10.5km)	交通量	[台/日]	3,300	0
		走行時間	[分]	25	0
		走行時間費用	[億円/年]	19.16	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
その他道路合計 (6,003.5km)	走行時間費用	[億円/年]	9,498.70	9,497.24	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,020.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	9,517.86	9,502.25	15.61

- 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- 5： 主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面()に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式 - 3

事業名：五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区) (残事業)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 宇宮原工区 (1.2km)	交通量 ¹	[台/日]	0	3,300	
	走行時間 ²	[分]	0	1	
	走行時間費用 ³	[億円/年]	0.00	0.87	
新設・改築道路 風屋川津工区 (5.7km)	交通量	[台/日]	0	3,300	
	走行時間	[分]	0	6	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	4.13	
主な周 辺道路 ⁴	一般国道 168号 (10.5km)	交通量	[台/日]	3,300	0
		走行時間	[分]	25	0
		走行時間費用	[億円/年]	19.16	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
その他道路合計 (6,003.5km)	走行時間費用	[億円/年]	9,498.70	9,497.24	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,020.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	9,517.86	9,502.25	15.61

- 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- 5： 主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面()、()に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成30年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22全国道路・街路 交通情勢調査)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の 考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	<input checked="" type="checkbox"/>	
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載 過去10年の実績値より算出	(17) 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道168号 五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.13		6.9	0.89
-12年目	H 25	1.2167	99.0	0.48	0.60		
-11年目	H 26	1.1699	101.5	0.46	0.55		
-10年目	H 27	1.1249	103.0	0.50	0.56		
-9年目	H 28	1.0816	102.8	0.93	1.00		
-8年目	H 29	1.0400	102.8	0.93	0.96		
-7年目	H 30	1.0000	102.8	1.85	1.85		
-6年目	H 31	0.9615	102.8	4.17	4.01		
-5年目	H 32	0.9246	102.8	18.52	17.12		
-4年目	H 33	0.8890	102.8	37.04	32.93		
-3年目	H 34	0.8548	102.8	46.30	39.57		
-2年目	H 35	0.8219	102.8	92.59	76.10		
-1年目	H 36	0.7903	102.8	74.04	58.51		
供用開始年次	H 37	0.7599	102.8			0.82	0.63
1年目	H 38	0.7307	102.8			0.82	0.60
2年目	H 39	0.7026	102.8			0.82	0.58
3年目	H 40	0.6756	102.8			0.82	0.56
4年目	H 41	0.6496	102.8			0.82	0.54
5年目	H 42	0.6246	102.8			0.82	0.51
6年目	H 43	0.6006	102.8			0.82	0.49
7年目	H 44	0.5775	102.8			0.82	0.48
8年目	H 45	0.5553	102.8			0.82	0.46
9年目	H 46	0.5339	102.8			0.82	0.44
10年目	H 47	0.5134	102.8			0.82	0.42
11年目	H 48	0.4936	102.8			0.82	0.41
12年目	H 49	0.4746	102.8			0.82	0.39
13年目	H 50	0.4564	102.8			0.82	0.38
14年目	H 51	0.4388	102.8			0.82	0.36
15年目	H 52	0.4220	102.8			0.82	0.35
16年目	H 53	0.4057	102.8			0.82	0.33
17年目	H 54	0.3901	102.8			0.82	0.32
18年目	H 55	0.3751	102.8			0.82	0.31
19年目	H 56	0.3607	102.8			0.82	0.30
20年目	H 57	0.3468	102.8			0.82	0.29
21年目	H 58	0.3335	102.8			0.82	0.27
22年目	H 59	0.3207	102.8			0.82	0.26
23年目	H 60	0.3083	102.8			0.82	0.25
24年目	H 61	0.2965	102.8			0.82	0.24
25年目	H 62	0.2851	102.8			0.82	0.23
26年目	H 63	0.2741	102.8			0.82	0.23
27年目	H 64	0.2636	102.8			0.82	0.22
28年目	H 65	0.2534	102.8			0.82	0.21
29年目	H 66	0.2437	102.8			0.82	0.20
30年目	H 67	0.2343	102.8			0.82	0.19
31年目	H 68	0.2253	102.8			0.82	0.19
32年目	H 69	0.2166	102.8			0.82	0.18
33年目	H 70	0.2083	102.8			0.82	0.17
34年目	H 71	0.2003	102.8			0.82	0.17
35年目	H 72	0.1926	102.8			0.82	0.16
36年目	H 73	0.1852	102.8			0.82	0.15
37年目	H 74	0.1780	102.8			0.82	0.15
38年目	H 75	0.1712	102.8			0.82	0.14
39年目	H 76	0.1646	102.8			0.82	0.14
40年目	H 77	0.1583	102.8			0.82	0.13
41年目	H 78	0.1522	102.8			0.82	0.13
42年目	H 79	0.1463	102.8			0.82	0.12
43年目	H 80	0.1407	102.8			0.82	0.12
44年目	H 81	0.1353	102.8			0.82	0.11
45年目	H 82	0.1301	102.8			0.82	0.11
46年目	H 83	0.1251	102.8			0.82	0.10
47年目	H 84	0.1203	102.8			0.82	0.10
48年目	H 85	0.1157	102.8			0.82	0.10
49年目	H 86	0.1112	102.8	-0.07	-0.01	0.82	0.09
合計				277.73	233.75	41.20	14.01
単純事業費計				277.80		41.20	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道168号 五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.13	6.9	0.89

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-6年目	H 31	0.9615	102.8	4.17	4.01		
-5年目	H 32	0.9246	102.8	18.52	17.12		
-4年目	H 33	0.8890	102.8	37.04	32.93		
-3年目	H 34	0.8548	102.8	46.30	39.57		
-2年目	H 35	0.8219	102.8	92.59	76.10		
-1年目	H 36	0.7903	102.8	74.04	58.51		
供用開始年次	H 37	0.7599	102.8			0.82	0.63
1年目	H 38	0.7307	102.8			0.82	0.60
2年目	H 39	0.7026	102.8			0.82	0.58
3年目	H 40	0.6756	102.8			0.82	0.56
4年目	H 41	0.6496	102.8			0.82	0.54
5年目	H 42	0.6246	102.8			0.82	0.51
6年目	H 43	0.6006	102.8			0.82	0.49
7年目	H 44	0.5775	102.8			0.82	0.48
8年目	H 45	0.5553	102.8			0.82	0.46
9年目	H 46	0.5339	102.8			0.82	0.44
10年目	H 47	0.5134	102.8			0.82	0.42
11年目	H 48	0.4936	102.8			0.82	0.41
12年目	H 49	0.4746	102.8			0.82	0.39
13年目	H 50	0.4564	102.8			0.82	0.38
14年目	H 51	0.4388	102.8			0.82	0.36
15年目	H 52	0.4220	102.8			0.82	0.35
16年目	H 53	0.4057	102.8			0.82	0.33
17年目	H 54	0.3901	102.8			0.82	0.32
18年目	H 55	0.3751	102.8			0.82	0.31
19年目	H 56	0.3607	102.8			0.82	0.30
20年目	H 57	0.3468	102.8			0.82	0.29
21年目	H 58	0.3335	102.8			0.82	0.27
22年目	H 59	0.3207	102.8			0.82	0.26
23年目	H 60	0.3083	102.8			0.82	0.25
24年目	H 61	0.2965	102.8			0.82	0.24
25年目	H 62	0.2851	102.8			0.82	0.23
26年目	H 63	0.2741	102.8			0.82	0.23
27年目	H 64	0.2636	102.8			0.82	0.22
28年目	H 65	0.2534	102.8			0.82	0.21
29年目	H 66	0.2437	102.8			0.82	0.20
30年目	H 67	0.2343	102.8			0.82	0.19
31年目	H 68	0.2253	102.8			0.82	0.19
32年目	H 69	0.2166	102.8			0.82	0.18
33年目	H 70	0.2083	102.8			0.82	0.17
34年目	H 71	0.2003	102.8			0.82	0.17
35年目	H 72	0.1926	102.8			0.82	0.16
36年目	H 73	0.1852	102.8			0.82	0.15
37年目	H 74	0.1780	102.8			0.82	0.15
38年目	H 75	0.1712	102.8			0.82	0.14
39年目	H 76	0.1646	102.8			0.82	0.14
40年目	H 77	0.1583	102.8			0.82	0.13
41年目	H 78	0.1522	102.8			0.82	0.13
42年目	H 79	0.1463	102.8			0.82	0.12
43年目	H 80	0.1407	102.8			0.82	0.12
44年目	H 81	0.1353	102.8			0.82	0.11
45年目	H 82	0.1301	102.8			0.82	0.11
46年目	H 83	0.1251	102.8			0.82	0.10
47年目	H 84	0.1203	102.8			0.82	0.10
48年目	H 85	0.1157	102.8			0.82	0.10
49年目	H 86	0.1112	102.8	-0.07	-0.01	0.82	0.09
合計				272.58	228.23	41.20	14.01
単純事業費計				272.65		41.20	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原工区)	2	6.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				26,578	
	改良費				1,149	
		土工	m ³	6,534	22	
		法面工	式	1	950	
		擁壁工	式	1	118	
		排水工	式	1	59	
	橋梁費				7,410	
		橋梁	m	887	7,410	
	トンネル費				17,953	
		NATM	m	5,391	17,953	
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				52	
		車道舗装	m ²	7,854	52	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				14	
		交通管理施設工	式	1	14	
②	用地及補償費				7	
	用地費		m ²	6,391	7	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	6,391	7	
		その他	m ²			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	3,415	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				30,000	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原工区)	2	6.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				26,578	
	改良費				1,149	
		土工	m ³	6,534	22	
		法面工	式	1	880	
		擁壁工	式	1	188	
		排水工	式	1	59	
	橋梁費				7,410	
		橋梁	m	887	7,410	
	トンネル費				17,953	
		NATM	m	5,391	17,953	
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				52	
		車道舗装	m ²	7,854	52	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				14	
		交通管理施設工	式	1	14	
②	用地及補償費				7	
	用地費		m ²	6,391	7	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	6,391	7	
		その他	m ²			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	2,861	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				29,446	

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原工区)	2	6.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.9	1,850	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,600	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			4,450	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

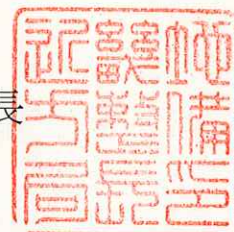


国近整企画第144号

平成30年10月29日

奈良県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成30年11月15日(木)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成30年11月7日(水)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・お問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(別紙)

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道24号大和御所道路	事業継続	
一般国道168号五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)	事業継続	
一般国道168号長殿道路	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

道 建 第 1 1 0 号
平成 3 0 年 1 1 月 7 日

近畿地方整備局長
黒川 純一良 殿

奈良県知事 荒井 正吾



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

平成 3 0 年 1 0 月 2 9 日付け、国近整企画第 1 4 4 号で照会のありました標記の件について、別紙のとおり回答します。

対象道路事業

- ・ 一般国道 2 4 号大和御所道路
- ・ 一般国道 1 6 8 号五條新宮道路（風屋川津・宇宮原工区）
- ・ 一般国道 1 6 8 号長殿道路

(別 紙)

【一般国道168号五條新宮道路（風屋川津・宇宮原工区）】

五條新宮道路は、紀伊半島全体の強靱化を図る観点から、「命の道」として、特に重要な地域高規格道路であり、加えて、南部地域の復旧・復興から振興への核として、観光や林業の振興といった地方創生に資する幹線道路です。

しかしながら、五條新宮道路（風屋川津・宇宮原工区）の現道は、狭隘区間やカーブが多いため、走行性が悪く、かつ、災害にも脆弱であることから、風屋川津・宇宮原工区を早期に整備することで、交通の円滑化や安全、安心の確保が図られ、さらなる観光や林業の振興が期待できます。

県としても、阪本工区、新天辻工区の整備を鋭意進めているところであり、紀伊半島の強靱化や南部地域の地方創生のため、風屋川津・宇宮原工区の事業継続は不可欠です。

以上のことから、対応方針（原案）のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業継続にあたり、より一層のコスト縮減等に努めて頂きたい。

県としては、円滑な事業推進のための環境整備の推進や沿線の自治体との協力を努めますので、早期の供用に向けた確実な事業推進をお願いします。